

2014年3月10日

「復興応援 キリン絆プロジェクト」、宮城県気仙沼市「みらい食の研究所」に支援金を助成  
～“生産から食卓までの支援”をテーマに、  
「こころと身体にしみいる食を届けるプロジェクト」を応援～

キリンビールマーケティング株式会社（社長 植木宏）は、「みらい食の研究所」（宮城県気仙沼市：代表 河野通洋）に対し、「こころと身体にしみいる食を届けるプロジェクト」の支援金として2,000万円を日本財団（会長 笹川陽平）の協力のもと3月10日（月）に助成します。

キリングループで展開している「復興応援 キリン絆プロジェクト」の一環として、被災地の水産業復興に向け、水産物のブランド育成支援や、6次産業化に向けた販路拡大支援を行うものです。今回の事業は、宮城県気仙沼市・岩手県陸前高田市の水産加工会社や食品会社4社が相互の強みを生かして、お客様のニーズに合った商品づくりに取り組むものです。任意団体である「みらい食の研究所」が、協同で取り組む「こころと身体にしみいる食を届けるプロジェクト」に対して助成を行い、「メイドイン三陸」の新たな高付加価値商品の開発、地域ブランドの育成、新たな販路開拓などに活用されます。

キリングループは、東日本大震災の復興支援活動として、2011年に「復興応援 キリン絆プロジェクト」を立ち上げました。3年間で約60億円を拠出し、「絆を育む」をテーマに「地域食文化・食産業の復興支援」「子どもの笑顔づくり支援」「心と体の元気サポート」の3つの幹でグループ各社が一体となって展開しています。

今回は、3つの幹の一つである「地域食文化・食産業の復興支援」として実施するものです。食に携わる企業として復興に貢献したいとの思いから、キリングループの中でもキリンビール社が中心となり、“生産から食卓までの支援”をテーマとした農業や水産業に対する支援活動を3年間にわたり継続的に実施しています。

水産業については、復興支援第1ステージとして、震災後から2012年まで、水産業の中でも「養殖業の復興」に取り組んできました。岩手県はわかめ、宮城県はかき、福島県は青のりを中心に、養殖再開に向けた養殖設備の復旧支援を行った結果、被災3県の養殖事業復旧のための支援総額は4億2,220万円となりました。

2013年からは、復興支援第2ステージとして、“生産から食卓までの支援”というテーマのもと、生産支援だけでなく、水産物のブランド育成支援、6次産業化に向けた販路拡大支援、将来にわたる担い手・リーダー育成支援などを展開し、今回の助成を含め、総額10億円の助成を行う予定です。

被災地の一日も早い復興を心より祈念するとともに、キリングループとして、引き続き被災地の皆様の支援に尽力していきます。

キリングループは、あたらしい飲料文化をお客様と共に創り、人と社会に、もっと元気と潤いをひろげていきます。

（本件お問い合わせ先）

キリン株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報担当  
東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス TEL 03-6837-7028

（お客様お問い合わせ先）

キリン株式会社 キリンビールお客様相談室（フリーダイヤル）0120-111-560  
キリンホームページ <http://www.kirin.co.jp>



笑顔で結ぶ。人を、日本を。